



シンポジウム

自然資本を活かした 防災と震災復興

東日本大震災からのグリーン復興と今後の展開

二〇一一年の東日本大震災後、東北大学の生態適応センターを中心に、生態系の恵みを活かした復興を考える「海と田んぼからのグリーン復興」という活動を続けてきました。

これまでの活動を総括した書籍「生物多様性は復興にどんな役割を果たしたか…東日本大震災からのグリーン復興」の出版を契機に、復興の歩みを見つめなおし、今後の可能性について議論します。

2018年12月1日(土) 14:00▶17:10

東北大学 片平キャンパス
生命科学プロジェクト総合研究棟 1階講義室

事前登録は不要です。当日会場へお越しください。

参加無料

趣旨説明

河田 雅圭 東北大学大学院生命科学研究科 教授

人口減少時代における生態系を基盤とした防災・減災 (Eco-DRR) の推進

一ノ瀬 友博 慶應義塾大学環境情報学部 教授

地域の自然資本を活かした防災と復興 ～環境省の取組～

鳥居 敏男 環境省大臣官房審議官

「いのちめぐる」サステイナブルなまちをつくる

太齋 彰浩 一般社団法人サステナビリティセンター 代表理事

海と田んぼからのグリーン復興を振り返る

中静 透 総合地球環境学研究所 特任教授

総合討論

主催 人間文化研究機構・広領域基幹研究プロジェクト
「日本列島における地域社会変貌・災害からの地域文化の再構築」

総合地球環境学研究所
東北大学生命科学研究科生態適応センター

後援 東北地方環境事務所

問合せ 東北大学大学院生命科学研究科 河田雅圭
E-mail : kawata@tohoku.ac.jp
Phone : 022-795-6688

総合地球環境学研究所 実践プログラム2
E-mail : jissen2@chikyu.ac.jp
Phone : 075-707-2355



アクセス

JR仙台駅・西口より徒歩15分
地下鉄東西線・青葉通一番町駅より徒歩10分
地下鉄南北線・五橋駅より徒歩10分
仙台市営バス・東北大正門前より徒歩5分
※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

住所

仙台市青葉区片平二丁目 1-1